

太洋住研ホーロー 株式会社

各種ホーロー部品の製造加工および販売に取り組み、製造技術の向上と品質の良い部品の供給を目指し、研究開発を実施。



当社の 強み・特徴

ホーロー加工はもとより技術課題への挑戦や新技術の開発にあたり、電化製品・調理用器具・厨房用機器・ガス器具などさまざまな製品に使われるホーロー部品の全国の大手主要メーカーに納入。

事業計画名 厚板を用いた高性能ホーロー鍋の開発

自社技術を生かして「BtoC」⇒ 自社開発のホーロー鍋で市場開拓

【計画の概要】 一般家庭の調理器具において、高付加価値を持った鋳物ホーロー鍋が注目されているがメーカーの加工の難しさや耐久性に難があることから、厚鋼板や特殊な上薬及び新たな塗装技術を用いて、機能性の向上を図り、新たなホーロー鍋の市場獲得を目指す。

本事業の取組内容・概要

●試作開発・設備導入のきっかけ

■受注量変動への不安

▶総合家電大手メーカーの部品加工を受けているが受注量が景気等の変動に左右される。

■「BtoB」から「BtoC」へ

- ▶自社独自のブランド商品の開発
製造加工以外に自社ブランド商品を開発し、新たな販路開拓を検討
- ▶自社完結型商品開発
- ▶自社の技術を生かした高性能商品の開発

●計画概要

- 1 試作品の形状の検討
- 2 塗料(上薬)の開発
- 3 調理ソフトの開発と製品の評価
- 4 材料素材の検討
- 5 特許・意匠の調査登録

●主な生産設備

分類	設備名
ホーロー加工	○前処理設備 ○釉薬製造設備 ○塗装設備 ○焼成炉
フッ素樹脂加工	○前処理設備 ○塗装設備 ○焼成炉



▲自社の技術の粋を結集させて製作したホーロー鍋の試作品 特殊な上薬、塗装技術を用い意匠性・耐久性を備えた仕上がり

企業DATA

- 事業者名 太洋住研ホーロー株式会社
- 代表者名 代表取締役 渡辺 紀雄
- 設立年月日 昭和55年7月30日
- 所在地 〒680-0854 鳥取県鳥取市正蓮寺98-5
Tel.0857-23-0091 Fax.0857-27-4179
URL : <http://taiyo.dip.jp> E-mail : taiyo55_h@nyc.odn.ne.jp
- 資本金 97,000千円
- 従業員数 36名(平成27年7月末時点)
- 業務内容 (窯業): 厨房用器具、石油、ガス燃焼器具等各種ホーロー製品の製造加工
フッ素樹脂塗装製品の製造加工、特殊耐熱塗装製品の製造加工

本事業の成果

●事業の概要とその成果

厚鋼板や特殊な上薬、塗装技術を用い、メーカーが難しいとされるホーローの加工、耐久性の向上を図り、今まで市場にない高意匠・耐久性を備えた鍋を製作。

■ 試作品の形状

- ▶ 圧力調理を可能とするため蓋を重くし、安全上大型の取手を採用。
- ▶ 無水調理を可能とするため調理中の水滴を中央に集めて循環できるように中央を凹状に加工。

■ 塗料(上薬)の開発

- ▶ 独自の調合により上薬を開発し、ユーザーニーズの高い意匠性・耐久性のある塗膜技術を開発した。

■ 調理ソフトの開発

- ▶ 他の調理器具を使用し、比較検討しながら製品の形状、性能調査を行い、データを収集した。

■ 材料素材の検討

- ▶ 現在市販の鋳物ホーロー鍋と同等の昇温・降温・蓄熱特性を出すため鋼板の厚さの検討を行った。

■ 特許・意匠の調査登録

- ▶ 意匠の調査を実施し、意匠出願。



◀ 厚鋼板を用い昇温・降温・蓄熱特性を向上



▲ 1つ1つを手づくりで製作

今後の展開と展望

●シェアの拡大策

全国市場の5%の占有率を目指す。

●売上目標

今後、5か年以内に当社の事業に育て上げ、売上を倍増する。

●企業の体質改善

今回の新製品の開発により、受注型企業から開発型企業へ脱皮する。
現在の生産設備の改善を図る。